



【2024年1月号】



町田市消防団第5分団第1部

発行番号 : MFF51-2401

発行月 : 2024年1月

発行責任者 : 部長 祖父江健一

発行編集者 : 副部長 鹿山仁史



日頃より、消防団活動へのご理解とご協力を頂き、心から感謝しております。
『災害に強い地域』を目指し、地域一体となり防災・減災の活動をしています。

本年も何卒よろしくお願ひいたします。



1月14日(日曜日)に町田市消防団 出初式 が挙行されました。

出初式（でぞめしき）とは、消防が1月初旬に行う仕事始めの行事です。新春恒例行事の一つであり、「出初式」は新年の季語となっています。



町内会・消防後援会・消防団



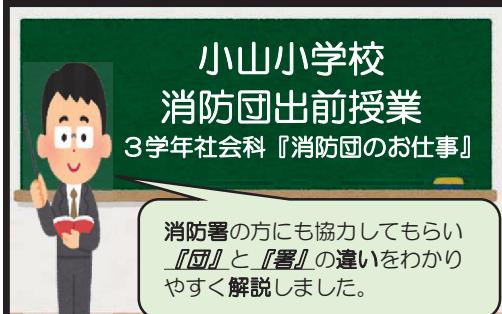
一斉放水



会場の様子



町内会激励



小山小学校 消防団出前授業 3学年社会科『消防団のお仕事』

消防署の方にも協力してもらい
『団』と『署』の違いをわかり
やすく解説しました。



始めの挨拶



消防団の説明



装備の説明



体験の授業

消火器体験

乗車体験

放水体験

防火服試着体験



火災発生（模擬）

火災出動時の行動

授業の終わりは全員で敬礼！

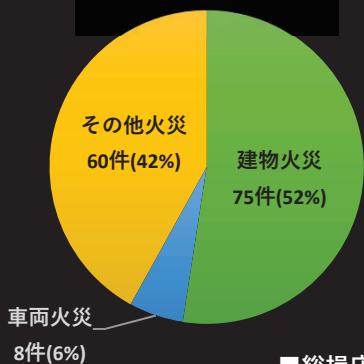
火災 急増中!!

町田市内の火災件数（速報値）

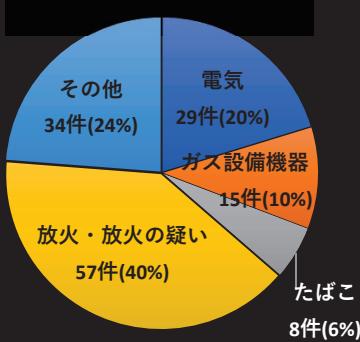
2023年 1月～12月

火災総数 143件

火災件数



火災原因別



■総損床面積 1187m²
■死者 5人
■傷者 16人

※速報値のため変更になる場合があります。

地震時の行動

地震直後の行動

地震後の行動

地震だ！ まず身の安全

- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
 - 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。
- 【高層階（概ね10階以上）での注意点】
- 高層階では、揺れが数分続くことがある。
 - 大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。



地震 その時10のポイント



ふんわり ふむふむ
(防災キャラクター)

落ちついで 火の元確認 初期消火

- 火を使っている時は揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- 出火した時は、落ちついで消火する。



あわてた行動 けがのもと

- 屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



窓や戸を開け 出口を確保

- 揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保する。



門や塀には 近寄らない

- 屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



確かめ合おう わが家の安全 瞳の安否

- わが家の安全を確認後、近隣の安否や出火の有無をお互いに確認し合う。



協力し合って 消火・救出・応急救護

- 近隣で火災を発見した場合は、街頭消火器などにより、協力し合って消火を行い延焼を防ぐ。
- 倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



正しい情報 確かな行動

- 行政、放送局、鉄道会社などから発信される正しい情報を得る。



避難の前に 安全確認 電気・ガス

- 避難が必要な時には、復電時の電気機器のショートなど、通電火災が発生する可能性やガス漏れの発生を防ぐため、ブレーカーを切り、ガスの栓を締めてから避難する。



火災や津波 確かな避難

- 地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら声を掛け合い、一時集合場所や避難場所に避難する。
- 沿岸部や川沿いでは、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。



私たちは、もしも...の災害時に備え各種訓練を実施しています。

救助ドローン



ロープ結索訓練



消火(火災防ぎ)訓練

このワッペンは町田市消防団の救助指導者の証であり、部内に3名の保有者が在籍しその数は他の部より多く災害への意識が高く救助リーダーが地域を守る。



ドローン操縦訓練



【消防団員募集中】 今あなたの“チカラ”が必要です!!

町田市役所防災課 ☎042-724-2107